

仕様書

1 概要

工事名	宮城県立がんセンター電話交換機更新工事
施工場所	名取市愛島塩手字野田山47-1 宮城県立がんセンター
施工期限	平成30年1月3日
工事の概要	既設電話交換機（日立製 CX8000M2）の耐用年数超過に伴い、電話交換機及び関連する設備の更新を行うもの。

2 工事の内容

- (1) 既設機器とその使用状況の調査、工事計画（回線計画等）の作成
- (2) 新規電話交換機等の調達
- (3) 新規機器等の搬入設置
- (4) 旧機器設定の新機器への反映作業
- (5) 新規機器への切り替え作業
機器の切り替え（内線及び外線電話が使用できない時間帯）は病院休診日（土日祝日）の深夜に行い、その週末で全ての切り替え作業を完了すること。
- (6) 動作試験
- (7) 旧機器の撤去、処分
- (8) 完成図書の作成

3 機器の数量等

- (1) 既設機器・回線数

PBX	一式
局線中継台	2台
内線話中表示機	2台
アナログ局線	11局線
INS64回線	7回線（DI）
一般内線電話機・FAX	472回線
多機能電話機	205台
事業所用 PHS	352台
構内 PHS 接続装置	62台
- (2) 納入機器

IP-PBX	一式
局線中継台（机も含む）	2台

内線話中表示機	2 台
多機能電話機	205 台

4 機器の仕様等

(1) 電話交換機の仕様

下表の内容は基本スペックであり、各項目の性能がこれを上回る製品は仕様適合とする。

適用回線	アナログ・デジタル専用線 総合デジタル通信回線 光電話直収対応（将来用）
回線接続方式	MDF 又は端子盤ねじ止め、光コネクタ、通信コネクタ
選択信号種別	DP(10/20pps), PB, ISDN プロトコル
最大ポート数	16,000 ポート
最大収容外線数	1024 以上
最大収容内線数	2048 以上
呼量	1 内線あたり 6HCS
制御方式	蓄積プログラム方式
通話路方式	PCM 方式
冗長構成	二重化
蓄電池	3 時間以上
冷却方式	強制空冷
バックアップメモリ	128MB
主記憶装置	2GByte
設置環境条件	温度 0～40℃、湿度 20～80%
電源	入力 AC90～110V/AC180～220V
主な機能	内線相互自動接続 ホットライン システム短縮ダイヤル 可変短縮ダイヤル 内線リセットコール ラストナンバーリダイヤル 不在転送 コールバックトランスファ 自己保留 長時間保留警報 アッドオン 特定内線話中割り込み

	<p> ピックアップグループ コールウェイティング 内線代表 内線相互キャンブオン グループ着信 DI/DID/DIL 個別着信 リモート PBX アクセス 専用線タンデム接続 アラーム監視 テナント 着信音識別 サービスクラス シングルデジット ラインロックアウト ハウラー音送出 3 分予報音送出 保留音 ページングトランスファ ナンバーディスプレイ バーチャルライン オートリトライ 発着信音色切替 発信者番号通知 着信応答前表示 積滞呼迂回 中継台応答遅延転送 台間転送 中継台キャンブオン ISDN ダイアルイン ISDN 着信サブアドレス 内線番号数 20,000 内線番号桁数 2~5 桁混在可 長時間保留警報 </p>
<p>修理等対応期間</p>	<p>製品導入から少なくとも 10 年間は保守用部品の供給があり、増設や修理に対応できること</p>

ナースコール連動機能	既存ケアコム製 7 式及び新設予定 1 式、計 8 式
発着信履歴管理システム	発着信履歴を 180 日程度記録し検索できること <ul style="list-style-type: none"> ・ 外線発信履歴、外線着信履歴 ・ ダイヤル番号 ・ 着信番号 ・ 発信内線番号、着信内線番号 ・ LAN 上の PC から履歴を検索する機能

(2) 多機能電話機

既存多機能電話機の設定を引き継ぎ、多機能ボタン名称等の表示も行う。

また、仕様は次のとおりとする。

主な機能	フリーファンクションボタン 24 個以上 着信・通話音量調整機能付き 漢字表示対応 ネーム表示 名称同時表示
修理等対応期間	製品導入から少なくとも 10 年間は増設や修理に対応できる機種であること

(3) 一般内線電話機・FAX

電話機及び FAX は既存を流用すること。なお、既存 472 回線のうち約 90 回線（病室設置分）は今後使用予定がないため、接続を要しない。

(4) 事業所用 PHS

既存を流用すること。切替の際は、ナースコール連動 PHS の設定作業を優先すること。なお、台数は現在から切替までの間に 10 台程度増減する可能性がある。

(5) 構内 PHS 接続装置

既存の日立製アンテナ HI-D3BSIDS, HI-D3BSNDS はそのまま流用可とする。なお、既存装置が新規 PBX に適合しない場合は、既存 PHS エリアをカバーするのに必要な数を設置すること。

5 留意事項

(1) すべての作業は病院の診療機能への影響を最小限にするよう、病院担当者と綿密な打ち合わせのうえで実施すること。